

別紙様式 4

技術開発課題全体計画

近畿中国森林管理局

課 題	44 植栽本数密度による林分構造変化及び材質試験				開発期間	平成 14 年度～令和 14 年度	
開発箇所	新元重山国有林 ①755 ろ林小班 ②755 ち 2 林小班	面積・プロ ット数	①スギ 3.25ha、4プロット ②ヒノキ 2.38ha、4プロット	担当部署	広島森林管理署	共 同 研究機関	森林総合研究所関西支所
課題の分類	中期課題	技術開発基本目標	(1)	技術開発目標	(1)	その他関係 施策等	—
現 状 と 問 題 点	我が国の林業は、木材価格の低迷等により、販売収入に対して、育林等経費が高く、低コスト化が大きな課題となっている。						
開発目的 (数値目標)	植栽本数密度による林分構造変化（成長量・形質）の比較検討を行うとともに、低コスト化に向けた森林造成技術の確立を図る。						
開発方法	昭和 47、48 年度に、大苗（スギ・ヒノキ）の疎植による初期保育の省力化の検討を目的に、1,000、1,500、2,000、3,000 本/ha で植栽した試験地（当初試験は終了）において、林分調査（立木密度、胸高直径、樹高）、下層植生（植生種、被度）、林内相対照度等の各調査を実施する。また、主伐時に樹幹解析を実施する。 なお、必要に応じて、間伐の実施を検討する。						
年 度 別 計 画	平成 14 年度	平成 19 年度	平成 21 年度	平成 24 年度	平成 26 年度		
	・ 土壌調査 ・ 林分調査 ・ 下層植生調査 ・ 相対照度調査	・ 下層植生調査 ・ 相対照度調査		・ 林分調査 ・ 下層植生調査 ・ 相対照度調査	・ 林分調査 ・ 下層植生調査 ・ 相対照度調査		
中間報告			○		○		
年 度 別 計 画	令和元年度	令和 6 年度	令和 11 年度	令和 13 年度	令和 14 年度		
	・ 林分調査 ・ 下層植生調査 ・ 相対照度調査	・ 下層植生調査 ・ 相対照度調査		・ 林分調査 ・ 下層植生調査 ・ 相対照度調査 ・ 樹幹解析（各試験区 3 本） ・ 主伐	・ とりまとめ		
中間報告	○	○	○				
技術開発委員会 における意見							
原課・原班 の意見							

その他	
-----	--

- 注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
- 2 「開発期間」欄には、短期・中期課題は開発期間、長期課題は課題開始年度のみを記入する。
- 3 「面積・プロット数」欄には、試験地を設定した場合に当該試験地の面積等を記入すること。
- 4 「技術開発基本目標」欄及び「技術開発目標」欄には、関係通知の目標番号を記入すること。
- 5 「課題の分類」欄には、短期・中期・長期課題のうち該当するものを記入すること。
- 6 「現状と問題点」欄には、他の機関が行っている技術開発との比較等も含めて記入すること。
- 7 「開発目的(数値目標)」欄には、開発目的のほか、コスト削減等について民間事業者が取り入れているコスト等と比較可能な場合などできる限り数値を記入すること。
- 8 「開発方法」欄には、実施に当たっての取組み方法等を記入すること。
- 9 「年度別計画」欄には、各年度ごとに実施する技術開発の計画（見込み）を記入し、「中間報告」欄には、中間報告の実施年度に「○」を記入すること。
(該当する場合)
- 10 「技術開発委員会における意見」欄には、当該委員会の総括的な意見等を記入すること。
- 11 「原課・原班の意見」欄には、林野庁関係班・森林管理局関係課の意見を記入する。
- 12 「その他」欄には、引用した参考文献、その他必要な事項を記入すること。